

学習の殿堂

1 指示語の問題

【原則】指示語の前後に注目して、指している内容をとらえる。

例 健康にかかわるテーマのテレビ番組で何か一つの食材を取り上げると、それを見た人たちがその食材を買いあさるといふ現象が起こる。①いくら体に良くても、かたよった食べ方には問題がある。健康維持のためにはバランスの良い食生活が必要である。②このことを頭に入れながらテレビの情報を活用してほしい。

【問い】——線①「それ」、②「このこと」は何を指していますか。

【答え】① 健康にかかわるテーマのテレビ番組

② 健康維持のためにはバランスの良い食生活が必要なこと。

【考え方】指示語の前の部分に注目する。指している内容をとらえたら、指示語にあてはめてみて、文意が通るか確かめる。

① 「健康にかかわるテーマのテレビ番組」(「それ」)を見た人たちが……。

② 「健康維持のためにはバランスの良い食生活が必要なこと」(「このこと」)を頭に入れながら……。

2 接続語の問題

【原則】空欄の前後がどんな関係でつながっているかをとらえる。

接続語 || 言葉と言葉、文と文、段落と段落との関係を示す言葉。

例 近年、犬や猫などの小動物、**A** ペットを飼う人が増えてきている。動物とのふれ合いは癒しをあたえてくれる。**B**、飼

い主のマナーの悪さがトラブルのもとになっている。

【問い】**A**・**B**に入る接続語を選びなさい。

ア しかし イ すなわち ウ あるいは エ では

【答え】**A**—イ **B**—ア

【考え方】空欄の前後の関係を考える。

・**A**の場合 前の「犬や猫などの小動物」を後で「ペット」といってかえている。↓説明の接続語

・**B**の場合 「癒しをあたえてくれる」と「飼い主のマナーの悪さがトラブルのもとになっている」は相反する。↓逆接の接続語

・主な接続語とはたらき

・順接 || 前の内容が後の部分の原因・理由であることを示す。
(だから・したがって)

例 台風が接近している。だから、海が荒れている。

・逆接 || 前後の内容が相反することを示す。(しかし・けれども)

例 台風が接近している。しかし、飛行機は予定通り飛ばらしい。並立・累加 || 前の事柄に後の事柄を並べたり、つけ加えたりする。(そして・また)

例 かれは有能だ。そして、人望があつた。

・対比・選択 || 前と後を比べたり、一方を選んだりすることを示す。(または・あるいは)

例 アメリカ、または、イギリスに留学したい。

・説明 || 前の内容を説明する。(つまり・なぜなら)

例 その製品はよく売れた。なぜなら良質で価格が安いからだ。転換 || 前の内容から話題を転じる。(ところで・では)

例 提案は可決された。では、次の議題に移ろう。

3 空欄補充問題

【原則】空欄の前後に注目して、文脈に合う言葉を考える。

文脈とは文章における、言葉と言葉などの意味的なつながりのこと。

① 同じ文の中からあてはまる言葉をとらえる場合

(1) 呼応の副詞をあてはめる→呼応する語句に注目する。

例 花畑が [] じゅうたんをしきつめたように広がっている。

ア たぶん イ まるで ウ たとえ

考え方 「ように」が続く呼応の副詞はイ。

(2) 擬態語・擬音語をあてはめる→何の、どんな様子を表しているかをとらえる。

例 桜の花びらが [] と散っている。

ア はらはら イ どさどさ ウ ぼとぼと

考え方 桜の花が散る様子を表すのにふさわしいかどうかで判断する。ふさわしいのはア。

② 前後の部分からあてはまる言葉をとらえる場合

(1) 空欄をふくむ文と同じような内容の言葉(言いかえた表現)を探す。

例 村民が代々引き継いできた祭りは、単に祭りの形式を伝えるものではなく、村民のきずなの伝承である。現在の地域共同体に求められているのは村民の心の結びつき、すなわち [] である。

考え方 「村民の心の結びつき」と同じ意味の「きずな」が入る。

4 脱文挿入問題

【原則】脱文の内容と関連のあることを述べている部分を文章から探す。

(2) 空欄をふくむ文の内容を言いかえた言葉を考える。

例 兄は困難な状態にあっても、物事を良い方に考える。つまり、かれは、[] な人間なのである。

ア 空想的 イ 悲観的 ウ 楽観的

考え方 「物事を良い方に考える」様子を表す言葉はウである。

① 脱文中の指示語に注目する。→指示語が指す事柄をとらえる。

例 脱文 この問題は一朝一夕には解決しないかもしれない。

水害から人々の生命を守るにはダムが必要だ。一方で、ダム建設は川の自然を破壊することにもつながる。つまり、ダム建設には安全な暮らしと自然保護という問題がある。しかし、さまざまな立場の人々が議論をつくせば、きっと解決の糸口が見つかるだろう。

考え方 「この問題」「安全な暮らしと自然保護という問題」したがって、脱文は「問題がある。」の後に入る。

② 脱文中の接続語に注目する。→前後の接続関係が成立する部分を探す。

例 脱文 だから、不要なものを買わないことが大切だ。

家庭から出るビンや紙類などはリサイクルされている。だが、リサイクル技術が進んでもばく大な費用がかかる。つまり、わたしたちはかきこい消費者になる必要があるということである。

考え方 「だから」＝原因・理由が前の部分で述べられている。したがって、脱文は「費用がかかる。」の後に入る。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

友梨ゆりの父は、仕事を辞めたあと、専業主夫をしつつ野菜を育てている。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45 40 35 30 25

(谷瑞恵たにみずえ「神さまのいうとおり」より)

□問一 1にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 耳を貸した イ 耳をすました
 ウ 耳を疑った エ 小耳にはさんだ

□問二 2にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の家族にも無職になることをすすめたい
 イ 父親が主夫だなんてうらやましい
 ウ 父親が無職だなんてかわいそう
 エ 他人の家庭の事情に口を出してはいけない

□問三 3にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- ア ぴったりだった イ 信じられなかった
 ウ 不思議だった エ うんざりだった

□問四 線「主夫になってみたい?」について、次の問いに答えなさい。

(1) この質問に対して、男子生徒はどのように答えましたか。次の文の□にあてはまる言葉を文章中から十字で書きぬいて答えなさい。

(2) この質問に対する男子生徒の答えを聞いた友梨の気持ちを、簡潔に説明しなさい。

□問五 友梨は、以前よりも生き生きしているお父さんの生き方について、どのように思っていますか。「お父さんの生き方を。」という形で、文章中の言葉を使って四十字以上五十字以内で答えなさい。

□問六 この文章の内容と合っているものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 華やかな自分の弁当と手の込んだ丸山の弁当を見比べていて、丸山と目が合った友梨は、丸山を見つめ続けた。
 イ 友梨が、父親が主夫であるという秘密を打ち明けた相手は一人だけだったが、クラス中に広まっていた。
 ウ 友梨の父親は、ひいおばあちゃんの家で始めた農業が軌道きどうに乗っており、母と同じほどの収入がある。
 エ 「主夫になってみたい?」と芽依が質問した相手は、友梨が好意を持っていた図書委員の男子生徒だった。

2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50

45

40

35

30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(石川英輔「大江戸開府四百年事情」より)

(注) 仙台平、美濃紙、会津の蠟燭、練馬大根：それぞれ、宮城県、岐阜県、

福島県、東京都の特産品。

こんな番付：江戸時代には地方の名産品番付が作られた。

ペリー艦隊の外圧：一八五三年、アメリカ海軍のペリーが艦隊を率いて

日本に來航し、開国を迫った事件を指す。

問一 1・2 にあてはまる言葉を次から一つずつ選び、記

号で答えなさい。

ア または イ 要するに ウ しかも エ しかし

1	2
---	---

問二 線①「大勢の福の神の後は、必ず大勢の災いの神がつ

いて来る」とありますが、これを説明した次の文の□にあてはまる言葉を、文章中からそれぞれ書きぬいて答えなさい。

機械による産業は製造の効率がよく、

が

できるので多くの

を生むが、

となって大量の廃棄物を出す結果にもつながる。

問三 線②「人間の多様性も同じように重要なのである」とあ

りますが、人間に多様性が必要なのはなぜですか。四十字以内で答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--

問四 線③「われわれが江戸時代から学ぶべきことは多い」と

ありますが、筆者が江戸時代から学ぶべきと考えていることとしてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 江戸時代の人々は、限られた自然環境を生かす中で豊かな発想力を養ったこと。

イ 太陽エネルギーにたよった産業は廃棄物が少なく、環境に優しいということ。

ウ すぐれた文化とは、人が自ら力仕事や面倒なことを行う中で生まれるということ。

エ エネルギー効率が良く、生産性の高い人手による産業が特産品を生み出したということ。

--

問五 この文章からは、次の一文がぬけています。どこにもどすのが最もふさわしいですか。もどす箇所の直後の五字を書きぬいて答えなさい。

むしろ二十世紀の高度成長期の方が、文化的には停滞していた時代だったのでなからうか。

--

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

75

70

65

60

55

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 吉野林業：奈良県中南部の吉野川(紀ノ川)上流地域で行われている林業。

(田中淳夫「割り箸はもったいない?」より)

密植：間隔を空けずに植物を植えること。

通直：木目などが縦にまっすぐに通っていること。

大径木：幹の周りが九十センチメートル以上の樹木。

干架：刈り取った稲穂をしばらく乾燥させる際に使う棒。

床柱：和室の床の間の脇を支えている太い柱。

樽丸：酒などを入れる樽に使う板材。

三宝：神事において供物を載せるための台。三方。

問

線①「割り箸こそ日本の林業の真髄であり象徴とも言える」とありますが、それはなぜですか。次の文の□にあてはまる言葉を文章中から書きぬいて答えなさい。

割り箸は最後の最後まで木材を利用した

であり、日本の林業は廃材の

で成り立って

いたため。

85

80

1 出題形式別対策(1)

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小学三年生の「僕」は、三月も末のある日、突然母を亡くした。父の田舎で葬式が営まれ、残された家族は、母がいない現実を受け入れることができないまま帰宅する。家族は居間に集まってみたものの、中学一年生の兄は風呂へ、小学五年生の姉は二階の自分の部屋へと上がっていった。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

11 45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

75

70

65

60

55

50

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

100

95

90

85

80

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

60

55

50

45

40

35

30

1 出題形式別対策(1)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

90 85 80 75 70 65

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15 120 115 110 105 100 95

1 出題形式別対策(1)

問六

2・3には、同じ言葉があてはまります。その言葉を、漢字三字で答えなさい。

問七

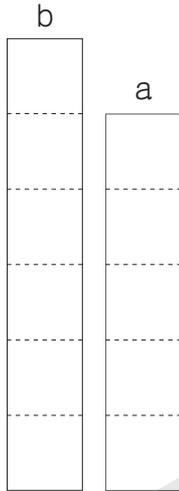
線⑤「評価的承認を、さらに二つに分けてみます」とありますが、次は、「評価的承認」を二つに分けて、その特徴を説明したものです。
a・bにあてはまる言葉を、文章中からaは五字、bは六字で書きぬいて答えなさい。

◎「競争関係における承認」
相手に勝つと自己価値が上がると同時に、まわりも承認してくれる。例 テニスなどの競技、大学入試など。
↓ただし、aなものになりやすい。

◎「役割関係における承認」
必要とされる仕事をきちんとこなしたり、団体競技で貢献をしたりするときに、仲間が喜んで評価し、承認してくれる。
↓社会生活のうえでは重要であり、b。

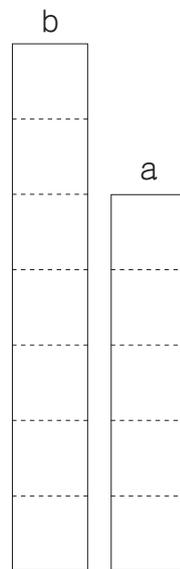
問八

次は、この文章を読んだ六年生たちの話し合いの一部です。
a・bにあてはまる言葉を、文章中からaは五字、bは七字で書きぬいて答えなさい。



問九

Aさん たえば、赤ちゃんが泣いたときなど、養育者は、赤ちゃんのaを受けとめて適切に世話をしなければならぬですね。親の役割は大きいですね。
Bさん 私は、このような育て方が、子どもが将来bになることと関連していると知り、おどろきました。
Cさん やはり、親が子どもにあたえる影響は大きいですね。



この文章の内容に合うものを次から選び、記号で答えなさい。
ア 発達心理学者・精神分析家のエリクソンは、赤ちゃんのなかに生まれた基本的信頼は、「自分は大切にされる価値がある」という自己肯定感の基礎にもなると提唱した。
イ 養育者が、つらそうな表情やうれしそうな表情の子どもに対して過剰に語りかけると、子どもは、自分自身の感情に自分で気づくことができなくなる可能性がある。
ウ 家庭が子どもにとって愛情的承認の場でなくなると、子どもはルールを自力で見つける必要があるため、結果的に自発的な性格の人間に育ちやすい、ということが起きる。
エ 子どもは、成長とともに評価的承認の世界を拡大していくが、現代の子どもは競争社会を勝ちぬいていくため、競争関係における承認を得ることに必死になっている。
オ 子どもは、成長する過程で、友だちの家庭で出会った別の価値観や学校の先生の価値観に影響されたり、自分自身で考えたりし、価値観を更新していくことになる。

--

主語・述語・修飾語

問一

次の各文から主語と述語をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (1) 体育の時間に、ぼくたちは、校庭を、何周も走った。
主語() 述語()
- (2) この水族館には、めずらしい魚がたくさんいるらしい。
主語() 述語()
- (3) かれの話の話を聞けば、君の考えも変わるだろう。
主語() 述語()
- (4) 展望台から見える景色は、このうえなく美しいそうだ。
主語() 述語()

問二

次の各文から主語と述語をそれぞれ一文節で書きぬいて答えなさい。省略されている場合は、×を書きなさい。

- (1) 広い牧場を馬がかけ回る。
主語() 述語()
- (2) 色とりどりの花がとてもきれいだ。
主語() 述語()
- (3) 列車はそろそろ次の駅に着くそうだ。
主語() 述語()
- (4) これは誕生日に父に買ってもらった本だ。
主語() 述語()
- (5) もう終わったよ、サッカーの決勝戦は。
主語() 述語()
- (6) かれの意見にはクラスのだれも反対しなかった。
主語() 述語()
- (7) 明日になれば、きっと晴れるだろう。
主語() 述語()

問三

次の——線部が直接かかっている言葉を一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) あの大きな建物は町でいちばん大きい病院だ。
ア() イ() ウ() エ() オ() カ()
- (2) ゆつくりと太陽が雲の間から顔を出す。
ア() イ() ウ() エ() オ()
- (3) どこまでも続く長い道を目的地に向かって走る。
ア() イ() ウ() エ() オ() カ()
- (4) そろそろ授業の終わりを知らせるチャイムが鳴る。
ア() イ() ウ() エ() オ() カ()
- (5) とても貴重な宇宙の話を聞くことができた。
ア() イ() ウ() エ() オ() カ()
- (6) 昨日食べたカレーライスの味がどうしても忘れられない。
ア() イ() ウ() エ() オ() カ()

問四

次の——線部の言葉が、主語ならA、述語ならB、修飾語ならCの記号で答えなさい。

- (1) ぼくは友人を駅まで送った。
ア() イ() ウ() エ()
- (2) 白鳥も春には北国へ帰るらしい。
ア() イ() ウ() エ()
- (3) 君こそもっとまじめに勉強するべきだ。
ア() イ() ウ() エ()
- (4) ついに合格発表の日が来た。
ア() イ() ウ() エ()
- (5) 何とすばらしいのだろう、かれの絵は。
ア() イ() ウ() エ()

問五

次の——線部と——線部の関係が主語・述語の関係ならA、修飾・被修飾の関係ならB、それ以外ならCの記号で答えなさい。

- (1) あんなに両者の考え方がちがうとは思ってもみなかった。
- (2) 夜になると気温はますます下がり、やがて白いものが空から落ちてきた。
- (3) ここで特に強調したいのは、一人一人が自分の行動には責任を持たなければならないという原則だ。
- (4) 父は、ふだんよりもだいたい早く会社に行ったようだ。
- (5) クリスマスやお正月が、今から楽しみだ。
- (6) 簡単そうな算数の問題を実際に解いてみたら、かなり手こずった。

問六

次の——線部の言葉に注意して、□にあてはまる言葉をひらがなで書きなさい。

- (1) □□天気がよかったら、いっしょに出かけましょう。
- (2) 自分の作品が入賞するなんて、□□□夢のようだ。
- (3) □□□わたしの話を聞いてください。
- (4) □□□勝てなくても、全力をつくすことは大切だ。
- (5) かれが□□□あんなことを言ったのか、見当もつかない。

問七

次の——線部の言葉に注意して、□にあてはまる言葉をひらがなで書きなさい。

- (1) このことはけっしてだれにも言う□□。
- (2) たぶん夕食のメニューはハンバーグ□□□。
- (3) どうして妹が泣いているの□、母にもわからなかった。
- (4) ペンギンが空を飛ぶことなど、よもやある□□。
- (5) この湖はあたかも海の□□□広大だ。
- (6) 他人に何を言われてもまったく気にし□□。

問八

次の各文が、文法的に正しければ○を、誤りがあれば×を書きなさい。

- (1) 引っこしたばかりであまりかたづいていませんが、ぜひ遊びに来てください。
- (2) 友人が学校に遅刻してきたのは、きっとねぼうしたのかもしれない。
- (3) たとえ修学旅行が延期になれば、ぼくもみんなと同じようにがっかりするだろう。
- (4) かれのドリブルを見ると、まるで足にボールが吸いついているみたいだ。
- (5) 中学生になったら、おそらく勉強と部活動を両立できるようにしたい。

さまざまな言葉

問一 次の慣用句の意味を後から選び、記号で答えなさい。

- (1) たなにあげる
- (2) あわを食う
- (3) しのぎをけずる
- (4) えりを直す
- (5) 味をしめる
- (6) ねこをかぶる

ア 気持ちを引きしめ、まじめな態度になる。

イ 本当の性質をかくして、おとなしいふりをする。

ウ 問題をそのままにしておく。

エ おたがいに激しく戦う。

オ ひどくおどろき、あわてる。

カ 一度うまくいったことを覚えていて、また同じようになまくいくことを期待する。

問二 次の慣用句の意味を後から選び、記号で答えなさい。

- (1) 目をぬすむ
- (2) 目から鼻へぬける
- (3) 目をつぶる
- (4) 目をかける
- (5) 目を光らす

ア 非常にかしい。

イ かわいがって、よくめんどろを見る。

ウ 人にわからないようにこっそり行う。

エ 厳しく見張る。

オ 失敗などに気づいていながら責めないでおく。

問三 次の慣用句が()内の意味になるように、□にあてはまる漢字を後から選び、記号で答えなさい。

- (1) □をかく
- (2) □にきず
- (3) □をおろす
- (4) □の足をふむ
- (5) □につく

(仕事や役がらがびったりとその人に合う。)

ア ニ イ 裏 ウ 根 エ 板 オ 玉

問四 次の慣用句が()内の意味になるように、□にあてはまる体の一部を表す漢字を書きなさい。

- (1) □を貸す
- (2) □をつっこむ
- (3) □にかける
- (4) □がすべる
- (5) □をくくる
- (6) □にどろをぬる

(人がすることに協力する。)

(自分からそのことに関係していく。)

(じまんする。)

(話してはいけないことをうっかり話してしまう。)

(かくごを決める。)

(相手にひどくはじをかかせる。)

問五

次のことわざの意味を後から選び、記号で答えなさい。

- (1) おにに金棒
- (2) 馬の耳に念仏
- (3) 花よりだんご
- (4) ぬれ手であわ
- (5) かえるのつらに水
- (6) 魚心あれば水心
- (7) 石の上にも三年
- (8) さわらぬ神にたたりなし

ア どんなにひどいめにあっても平気な様子。

イ いくら言っても効き目がないこと。

ウ 相手の出方によってこちらの応じ方も決まるということ。

エ 苦労や努力をしないで、たやすく利益を得ること。

オ めんどいなことにはかかわらないほうがよいということ。

カ 何事も根気が必要だということ。

キ 見せかけよりも実際に立つもののほうを選ぶこと。

ク 強いうえにさらに強くなること。

問六

次のことわざの にあてはまる言葉を後から選び、記号で答えなさい。

- (1) 歲月人を
 - (2) 後悔先に
 - (3) 人事をつくして天命を
 - (4) 弘法筆を
 - (5) 立つ鳥あとを
 - (6) 悪銭
- ア 待つ イ 待たず ウ 身につかず
- エ 立たず オ 選ばず カ にごさず

問七

次のことわざと意味の似ていることわざを後から選び、記号で答えなさい。

- (1) さるも木から落ちる
- (2) ねこに小判
- (3) 月とすっぽん
- (4) 弱り目にたたり目
- (5) ぬかにくぎ
- (6) せいては事をし損じる
- (7) 石橋をたたいてわたる
- (8) 二兎を追う者は一兎をも得ず

ア ぶたに真珠 イ のれんにうでおし

ウ あぶはち取らず エ 転ばぬ先のつえ

オ 泣きつ面にはち カ ちようちんにつりがね

キ 弘法にも筆の誤り ク 急がば回れ

問八

次のことわざの にあてはまる言葉をひらがなで書きなさい。

- (1) 勝って のおをしめよ
- (2) 口は の門
- (3) も積もれば山となる
- (4) 出る は打たれる
- (5) そなえあれば なし
- (6) の一声
- (7) 能ある はつめをかくす
- (8) 身から出た
- (9) 頭かくして かくさず
- (10) の川流れ